

ま^{ほっと}ちのニュース

市内のさまざまな出来事を紹介するコーナー

十和田市ブログ「駒の里から」を
ご覧ください

市ホームページに十和田市ブログを設けました。
ブログには広報とわだに掲載できなかった記事も
紹介していますのでご覧ください。
<http://citytowada.exblog.jp/>



火消しの熱き心意気

消防団員ら695人が結集した出初式

1月16日、気温マイナス4℃の中、官庁街通りで消防出初式が開催されました。出初式では中沢豊美消防団長の指揮のもと、徒歩部隊、車両部隊などが堂々の分列行進を披露。消防団員や消防職員は火災のない社会を目指そうと熱き心意気をみせてくれました。その後、市民文化センターで殉職消防職員や団員に対する黙とうが行われたほか、小山田市長から消防協力団体、企業、退職消防団員に感謝状の贈呈や、消防団長、十和田地域広域事務組合消防本部消防長などから優良消防分団、婦人防火クラブなどに表彰状が贈られました。



厳寒の中、規律ある行進をみせた消防団員たち

十和田湖冬物語2011メイン雪像

陸上自衛隊の雪像製作協力隊が製作開始

1月12日、休屋地区の十和田湖冬物語2011特設会場でメイン雪像の製作が始まりました。製作するのは陸上自衛隊八戸駐屯地の雪像製作協力隊の33人。今後、協力隊は休屋地区に泊りがけで製作に当たり、2月3日に引き渡すことにしています。雪像の題名は青森、秋田両県にちなんで「ねぶたとなまはげ」。大きさは高さ8m、横約25mで、2月4日の十和田湖冬物語の開会式で披露されます。雪像協力隊の隊長を務める木村広和3等陸尉は「十和田湖冬物語の成功に向けてがんばります」と抱負を話していました。



冬物語の橋野修一実行委員長に雪像製作の開始を告げる協力隊

日本三大開拓地小学生交流 楽しい思い出づくり



1月14日から17日にかけて日本三大開拓地小学生交流事業が行われました。今回訪問したのは、福島県矢吹町、宮崎県川南町からそれぞれ20人。本市からは小学校5・6年生の16人が参加しました。みんなで市内のホテルや小川原湖青年の家に寝泊りしながら、新渡戸記念館や現代美術館の見学、十和田湖畔の散策などを行いました。

16日は十和田湖温泉スキー場でスキー体験が行われ、交流生は初めての体験に四苦八苦しながらも雪国ならではの楽しい思い出をつくりました。



初めてスキーを体験する交流生

♪月がとっても青いから～ 全国カラオケコンクール決勝大会

12月26日、市民文化センターで第4回月がとっても青いから全国カラオケコンクールの決勝大会が開催されました。コンクールには全国から100人を超えるのど自慢が応募。事前審査を通過した42人が決勝大会で菅原都々子さんの歌「月がとっても青いから」、青森県にちなんだ歌、自由曲の3部門で歌声を競い合いました。「月がとっても青いから」部門では弘前市の境篤子さんが優勝し、菅原都々子さんから賞状とトロフィーが贈られました。境さんは「難しい曲なので一生懸命練習しました」と笑顔で話していました。



みんなでコンクールの最後に「月がとっても青いから」を熱唱